

都市再生整備計画（宇都宮大学東南部地区）の概要

本地区は、昭和47年に都市計画決定された宇都宮東部地区内約321haの土地
区画整理事業区域の中でも、JR宇都宮駅東口周辺市街地に近接しており、周囲に
は国道4号、国道123号、主要地方道宇都宮真岡線が縦横断するなど、市街地を
形成する上で高いポテンシャルを有する96.3haの地区である。

本地区内は狭隘道路や行き止まり道路が多く、無秩序な市街化が進んでいること
から、防災上や生活環境改善の観点から土地区画整理事業などによる計画的な都市
基盤整備が求められている。

また、地区内を縦断する都市計画道路3・3・105産業通りは、宇都宮市の交
通計画上、内環状線のバイパス的役割を担う主要幹線道路と位置づけられており、
早期整備が望まれている。

このような状況から、公共施設の整備及び宅地の利用増進を図るとともに、魅力
あるまちづくりを進めるため、土地区画整理事業などによる面的整備を実施し、良
好な住環境を有する『安全で安心なまちづくり』を行うものである。

(1) 計画概要

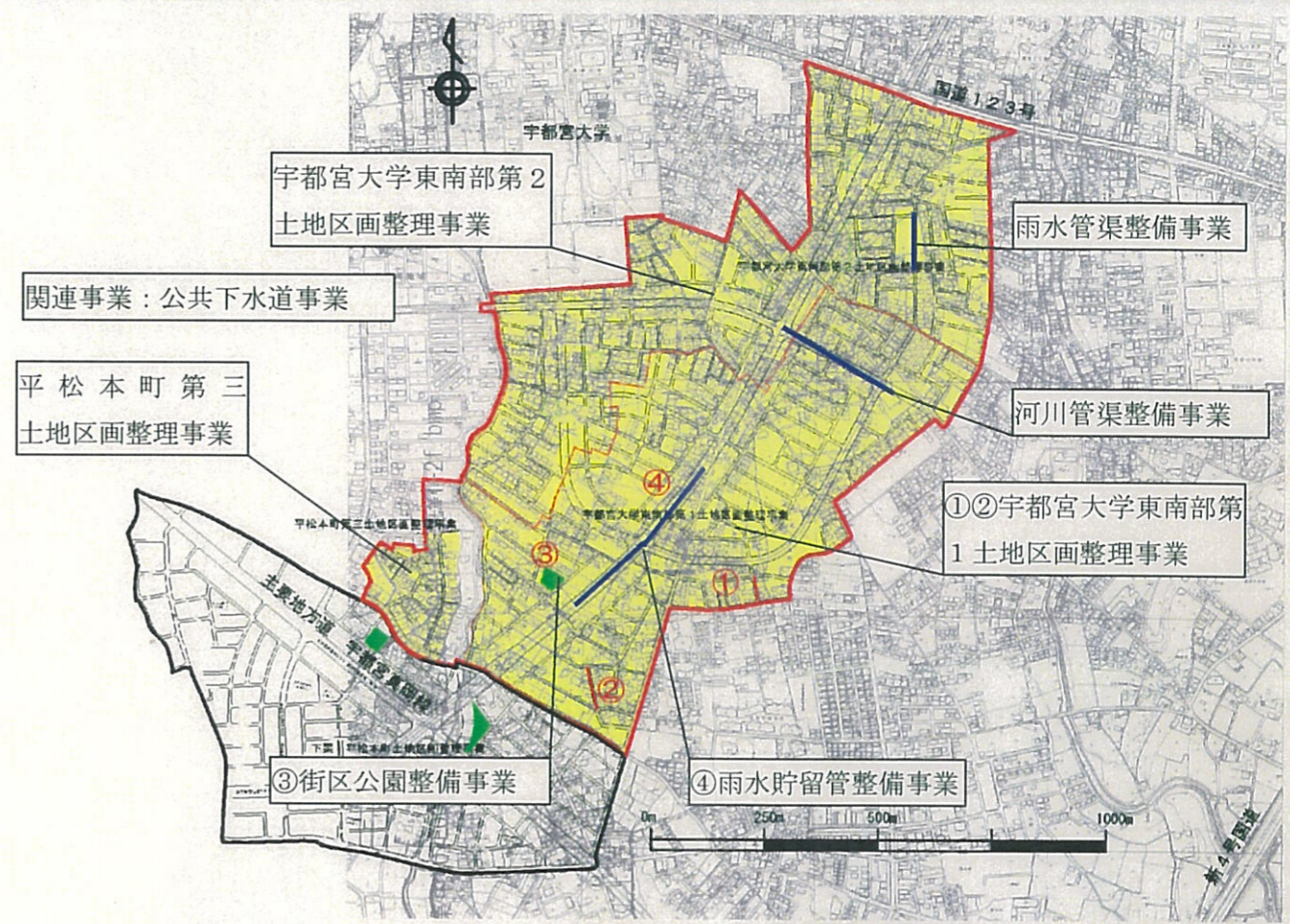
【地 区 名】	宇都宮大学東南部地区
【面 積】	96.3ヘクタール
【交 付 期 間】	平成20年度～平成24年度
【交付対象事業費】	約51億円（国費率40.0%）
【区 域】	平松町・平松本町・東峰町・石井町・峰町の各一部

(2) まちづくりの目標

- 【大目標】
高齢者、子育て世代が安全に、かつ安心して居住できるまちづくり
- 【小目標】
- ・道路網の整備により、児童生徒の通学路における交通危険箇所を減らし、あわせて公園を整備し、子育て世代が安心して居住できる環境を確保する。
 - ・狭隘道路の解消によって、万が一火災が起きた際の類焼を予防し、かつ消防車・救急車等の緊急車両の通行を容易にする。また、一時避難策として公園を整備するとともに、雨水貯留管及び河川管渠を整備し、地区の災害に対する安全性を高める。
 - ・整備計画の周知、公園整備のワークショップの開催等を通じて、地区住民のまちづくりに対する関心を高め、まちづくりへの意識の向上を図る。

(3) 事業

- 【土地区画整理事業】宇都宮大学東南部第1地区、宇都宮大学東南部第2地区、平松本町第三地区
- 【公 園】街区公園
- 【地域創造支援事業】雨水貯留管整備事業（宇都宮大学東南部第1地区）
雨水管渠整備事業（宇都宮大学東南部第2地区）
河川管渠整備事業（準用河川越戸川バイパス）
- 【まちづくり活動推進事業】まちづくり活動推進事業（宇都宮大学東南部第1地区、宇都宮大学東南部第2地区）
安全巡回ボランティア活動支援



①宇大東南部第1土地区画整理事業地内 区画道路(1)



②宇大東南部第1土地区画整理事業地内 区画道路(2)



③街区公園整備事業（平松台あおぞら公園）



④雨水貯留管整備事業